

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
統合分野	在宅看護概論	1	15	2年次	5月	松本ヤヨイ
授業概要 在宅看護の対象と場の特徴を理解し、在宅看護の意義と役割を学ぶ。						
到達目標 1. 在宅看護を学ぶ目的と特徴を知る。 2. 在宅看護の対象者を知る。 3. 在宅看護の制度を知る。 4. 在宅看護における看護師の役割と機能を知る。						
使用教材 テキスト：系統看護学講座 統合分野 在宅看護論（医学書院） 参考文献等						
評価 筆記試験						
授業計画						
時間・回数	授業内容					方法
2時間・1回	1. 社会的動向における在宅看護の目的・役割 1) 在宅看護にかかわる用語 2) 在宅ケアと在宅看護の位置づけ 3) 保健・医療・福祉をめぐる社会的動向 4) 訪問看護への期待 5) 在宅医療機器の普及					講義
2時間・1回	2. 在宅看護制度、医療保険制度 1) 訪問看護制度の創設と発展経緯 2) 訪問看護のしくみ（訪問看護ステーションについて） 3) 訪問看護業務（事例から）					講義
2時間・1回	3. 介護保険制度と訪問看護 1) 介護保険制度について 2) 介護保険制度での訪問看護 3) 医療保険と介護保険での訪問看護の比較 4) 公費負担制度、高額医療費制度について 5) 訪問看護業務（事例から）					講義
2時間・1回	4. 在宅看護の特徴 1) 基本理念、基本姿勢 2) 医療施設看護との比較 3) 訪問看護業務内容 4) 看護と介護の違い 5) 訪問看護師に求められる能力 （在宅にある物品の創意工夫と応用力）					講義
2時間・1回	5. 在宅看護の対象者と家族 1) 在宅療養者と家族の現状 2) レスパイトケア 3) 在宅難病児—グリーンケア＊DVD 視聴（NHK 放映プロフェッショナルより）					講義
2時間・1回	6. 在宅における終末 ケア、在宅療養の権利保障 1) 在宅ターミナルケアの視点 2) 家族支援 3) 苦痛緩和—看護師によるケア 4) 終末期を在宅で過ごす意味、在宅での看取り事例					講義

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
統合分野	在宅看護概論	1	15	2年次	5月	松本ヤヨイ
時間・回数	授業内容					方法
2時間・1回	7. 入院医療から在宅 ケアへ 1) 施設看護師と訪問看護師の役割と連携 2) 退院支援、退院調整 3) 地域にある在宅ケア支援事業所：業務内容と職種・事例展開					講義
1時間・1回	筆記試験					
備考 関連科目：専門基礎分野「社会福祉」、専門分野Ⅰ「臨床看護総論：健康障害の経過からみた看護」						